



# 小路正和県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

## 急ぐ「いすみ鉄道」の復旧

地元・夷隅郡市の課題解決に情熱を注ぐ、小路正和議員は、2月県議会一般質問に登壇。未だに復旧しない「いすみ鉄道」やJR外房線の利便性向上問題を始め、道路問題、農林水産業の所得向上、大原高校の活性化等について質問しました。その概要をお伝えします。

### 2月県議会・一般質問

小路議員 いすみ鉄道は、昨年10月の脱線事故から4ヶ月が経過した今も、代行バスによる輸送が続いている。今回の補正予算では、東側の大原駅から大多喜駅までの区間を復旧するための補助が計上された。大多喜駅より西側の区間は取り組んでおり、今回の補正予算案ではその復旧に必要な経費への補助を計上している。

## “夷隅の足”を守れ



2月県議会一般質問に登壇した小路正和議員

手袋であるいすみ鉄道の復旧について、どのように支援するのか。  
総合企画部長 いすみ鉄道では、まずは利用者が多い大多喜駅から東側の区間の枕木交換などの復旧工事に取り組んでおり、今回の補正予算案ではその復旧に必要な経費への補助を計上している。

## 夷隅の道路整備進む

小路議員 圏央道は令和8年度の全線開通を目標に整備が進められており、広域的な幹線道路ネットワークの充実・強化が進められている。この整備効果を夷隅地域へ波及させ、地域経済の活性化や観光の振興を図るためには、圏央道へのア

●美谷ハイパス  
小路議員 県道勝浦布施大原線美谷ハイパスの進捗状況はどうか。

●山田交差点  
小路議員 国道465号山田交差点は、国道と県道夷隅郡線が交差する箇所で大変見通しの悪い交差点となっている。いすみ市山田地区の交差点改良は、どのように取り組んでいくのか。

## 外房線もっと便利に

小路議員 外房地域は、様々な観光資源や豊かな自然を活かした活性化が求められ、また、都市部からの移住者を更に呼び込むために、外房線の利便性向上が求められている。  
しかし、上総一宮駅以南では快速列車が運行されていないため都市部とのアクセスが悪く、また人口減少に

引き続き、沿線市町村とも連携を図りながら、外房線の利便性向上などに努めてまいります。  
●要望  
現在、総武快速線からの直通列車は、京葉線も含めて全て上総一宮駅が発着となっているが、かつては勝浦駅や大原駅まで運行されていたこの直通列車が復活すれば、都心方面への利便性が向上し、移住促進にもつながると思うので、JRへの働きかけを検討するよう要望する。

●要望  
いすみ鉄道について、地元では「もう復旧できないのではないか」といった不安の声も多く挙がっている。一方で、大多喜高校の生徒やいすみ鉄道応援団、地元商工会、女性部の皆さんがクラウドや寄付活動を行っている。地域の足としてあるいすみ鉄道は房総半島に訪れる人を呼び込む重要な観光資源であり、復旧に向けて、関係市町と連携して支援するよう強く要望する。

●要望  
いすみ鉄道について、地元では「もう復旧できないのではないか」といった不安の声も多く挙がっている。一方で、大多喜高校の生徒やいすみ鉄道応援団、地元商工会、女性部の皆さんがクラウドや寄付活動を行っている。地域の足としてあるいすみ鉄道は房総半島に訪れる人を呼び込む重要な観光資源であり、復旧に向けて、関係市町と連携して支援するよう強く要望する。

●要望  
いすみ鉄道について、地元では「もう復旧できないのではないか」といった不安の声も多く挙がっている。一方で、大多喜高校の生徒やいすみ鉄道応援団、地元商工会、女性部の皆さんがクラウドや寄付活動を行っている。地域の足としてあるいすみ鉄道は房総半島に訪れる人を呼び込む重要な観光資源であり、復旧に向けて、関係市町と連携して支援するよう強く要望する。

伴う利用者の減少が運行本数の減少に繋がり、このままでは地域の発展が阻害されかねない。そのため、同駅以南の運行本数増加など、一層の利便性向上に取り組む必要があると考えるが、県はどのように考えているのか。  
総合企画部長 外房地域は首都圏有数の観光・リゾート地であり、地域振興や

同業を通じ、JRに対し、上総一宮駅以南を運行する外房線の本数の維持・増発や乗継改善などを要望しています。

現在、県道起点側の道路改良工事のほか、取得済みの用地を活用し、交差点周辺で歩行者が安全に退避できる空間の整備を進めているところだ。

現在、道路排水を処理する

現在、道路排水を処理する

# 農業・漁業

## 所得向上図れ

●省力化支援等の取組  
小路議員 将来にわたって、地域の水田農業を維持していくためには、省力化による生産コストの低減を図るとともに、農家の所得向上を図っていくことが重要だと考える。そこで何う、稲作農家の所属向上に資するよう、県として省力化

支援や高温対策にどのよう  
に取組んでいくのか。  
知事 肥料や燃料などの  
価格が高止まりする中、稲作  
農家の所得向上に資するよ  
う、省力化による生産コスト  
の縮減や、気候変動に対応し  
た米の品質確保への支援は、  
重要なことだと考えています。  
このため県では、経営規模

米の品質低下が課題と  
なっていることから、来  
年度は、農家と連携し  
て高温被害を軽減する  
施肥や水管理などの栽培技  
術の実証を行うなど、稲作  
農家の所得向上に資する取  
組を展開してまいります。

●スマート農業技術  
などによる省力化支  
援や高温対策には、しっかり  
と取り組んでいきたい。  
また、急速かつ大幅に規模  
拡大が進む中、経営感覚に

優れた農家を育成すること  
も大変重要である。県には、  
省力化支援や高温対策を含  
めて、担い手農家の経営力  
強化にもしっかりと取り組  
んでいただくよう強く要望  
する。

●漁業の操業省力化  
小路議員 本県は全国有  
数の水産県であるが、近年は  
海洋環境が変化し、漁船漁  
業の経営は非常に厳しい状  
況にある。  
そのような中で、漁船業の

所得向上に向けて、操業の効  
率化にどのように取り組ん  
でいくのか。  
農林水産部長 操業の効  
率化を図るためには、海洋環  
境を的確に把握して漁場の  
位置を予測することが重要  
です。  
このため県では、漁況予  
報や、5日先まで予測するシ  
ステムによる水深ごとの海  
水温や潮流等の情報、漁業  
調査船による漁場調査の結  
果を提供しています。

さらに、漁場調査の結果  
をリアルタイムで提供する  
ため、調査船への衛星通信シ  
ステムの導入経費を来年度  
当初予算に計上したところ  
です。  
今後、洋上風力発  
電の問題もある。洋  
上風力は漁業と共生するこ  
とが、一番重要な部分である。  
その共生策の中で、資源管  
理或いは施設の予算、流通  
或いは資材等への支援も進  
めるよう要望する。

# 全国から生徒募集を 水産系高校の魅力化・活性化

●水産系高校の魅力化  
小路議員 昨年12月議  
会でも、水産系高校について  
遠隔地からの生徒受け入れ  
に向けた民間企業や地元市  
等との協議を進めるとの答  
弁だったが、その後の進捗が  
非常に気になる。  
水産系高校における遠隔  
地からの生徒受け入れに向  
けた検討状況はどうか。  
教育長 今年度開催した  
「千葉県水産系高校あり方  
検討会議」の意見を踏まえ、  
今後、遠隔地からの生徒受  
入れに向けた県と民間企業、  
地元市等との連携体制の構  
築を進める事としています。  
そこで関係者を集めたセ

ミナーを今月開催し、地域  
と協働して生徒の受入体制  
を整備し、専門家から他県  
の事例や具体的な取組につ  
いて講演いただく予定です。  
引き続き、既存の施設の  
利活用も含めた生徒の受入

施設整備方法や安全な生  
活環境の確保など、受入れ  
に伴う課題について、様々な  
観点から検討してまいりま  
す。  
●遠隔地からの生徒  
受け入れのために、

保護者の元を離れた生徒  
が安全・安心に学べる環境  
づくりが大切であり、その  
ためには、地元自治体や地  
域の方々と連携が必要  
不可欠だと考える。他県の  
取組なども地域関係者と

更に充実するよう、全国8  
番目の予算位を要望する。  
柔道、剣道及びホッケーの  
充実、マイナースポーツへの  
支援もぜひご理解いただき  
たい。

共有し、機運を盛り上げて  
欲しい。そして、地元自治  
体等と連携し、遠隔地から  
の生徒受入体制を整備し  
て、水産系高校のより一層  
の魅力化と活性化を図って  
もらいたい。

以上増加しました。  
一方で、夷隅地域では共同  
捕獲などを行って令和5年  
度の推定生息数は、前年度  
より少ない約2万1千7百  
頭となり、令和3年度以降  
は減少傾向にあります。  
今後は、夷隅地域の事例  
も参考にしながら、捕獲強  
化と分布拡大防止に取り組  
んでまいります。

# 千葉県総合スポーツセンター新体育館 令和8年度着工へ

●新体育館の機能  
小路議員 令和7年度当  
初予算で千葉県総合スポ  
ーツセンター新体育館の  
建設費用として、約139  
億円の継続費が計上され  
ている。

新体育館の機能と今後  
の建設スケジュールはど  
うか。  
スポーツ文化局長 新  
体育館は、全国規模の大会  
でもスムーズに開催できる  
ようスペースを拡張し、同時  
に多くの試合を行える仕様  
にする。また、パラアスリ  
ートや車いす利用者等障害

のある方も円滑に利用でき  
るよう、エレベーター配置や  
バリアフリー化を進めるな  
ど、多様なニーズに対応する  
施設とします。  
現在、旧体育館の解体工  
事を行っており、新体育館は  
令和8年度に着工し、令和  
10年度中の供用開始を予定  
しております。

引き続き、新体育館が全  
世代の競技スポーツの一大  
拠点となるよう、施設の整  
備を進めてまいります。  
●柔道や剣道などの  
全国大会等が、新し  
い体育館で開催できるよう、

競技団体と  
連携して方  
策を検討し、  
新体育館に  
置の整備を要望する。  
競技団体への強化費等を

今後、こうした条例の  
趣旨や内容について、しっか  
りと周知していくとともに、  
生きつらさの解消や多様な  
人材が活躍できる環境づく  
りに至るまで、引き続き、つ  
なげたいです。  
●尊重が社会に広が  
らないよう、自民党の申し  
入れをしっかりと受け止めて  
いただき、今後の県政運営  
を進めていただくよう強く  
要望する。



自席から再質問する小路議員

●キヨンの捕獲数・生息数  
小路議員 特定外来生物  
キヨンは、捕獲者や県、市町  
村の努力にも関わらず生息  
数の増加と生息域の拡大が  
懸念されている。  
県内及び夷隅地域におけ  
るキヨンの捕獲数及び生息  
数はどうか。また県内での  
捕獲強化にどのように取り  
組んでいくのか。

環境生活部長 県では、  
市町村や関係団体と連携し  
キヨンの捕獲強化に取り組  
んでおり、令和5年度の県  
内全域における捕獲数は1  
万154頭で初めて1万頭  
を超えました。  
しかしながら、繁殖力が  
強い。令和5年度末時  
点の推定生息数は約8万6  
千頭で、前年度から4千頭

●多様性施策のあり方  
小路議員 多様性  
尊重条例のもと、行き  
過ぎた多様性の考え  
が社会に広がること  
を懸念するが、県の見  
解はどうか。  
総合企画部長 多  
様性条例は、誰もがそ  
の人生らしく生き、活躍できる  
社会の実現を目指すこと  
のものであり、伝統的な価値  
観や日本の歴史、文化を否  
定しようとするものではあ  
りません。

●夷隅のキヨン減少  
●多様性施策のあり方  
小路議員 多様性  
尊重条例のもと、行き  
過ぎた多様性の考え  
が社会に広がること  
を懸念するが、県の見  
解はどうか。  
総合企画部長 多  
様性条例は、誰もがそ  
の人生らしく生き、活躍できる  
社会の実現を目指すこと  
のものであり、伝統的な価値  
観や日本の歴史、文化を否  
定しようとするものではあ  
りません。

●多様性施策のあり方  
小路議員 多様性  
尊重条例のもと、行き  
過ぎた多様性の考え  
が社会に広がること  
を懸念するが、県の見  
解はどうか。  
総合企画部長 多  
様性条例は、誰もがそ  
の人生らしく生き、活躍できる  
社会の実現を目指すこと  
のものであり、伝統的な価値  
観や日本の歴史、文化を否  
定しようとするものではあ  
りません。

●多様性施策のあり方  
小路議員 多様性  
尊重条例のもと、行き  
過ぎた多様性の考え  
が社会に広がること  
を懸念するが、県の見  
解はどうか。  
総合企画部長 多  
様性条例は、誰もがそ  
の人生らしく生き、活躍できる  
社会の実現を目指すこと  
のものであり、伝統的な価値  
観や日本の歴史、文化を否  
定しようとするものではあ  
りません。

●いすみ市と県政に関するご意見をお寄せください

# 小路正和

# 県議事務所

〒298-0004

千葉県いすみ市大原8654

TEL・FAX 0470-62-5802